

スペイン初王座



発行所

山形新聞社

山形市旅籠町2-5-12
電話 代表023(622)5271

Copyright (c) 2010
Yamagata Shimbun

2010年

7月12日

〈月曜日〉

速電
報版子

購読申し込み
(9-17時)

0120-81-8040

やまがた
ニュースオンライン

<http://yamagata-np.jp>

Mbileやましん

<http://yamagata-np.jp/k/>



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。



1-0
延長戦でオランダ破る

【ヨハネスブルク共同】アフリカ大陸初開催となったサッカーの第19回ワールドカップ(W杯)南アフリカ大会最終日は11日、ヨハネスブルクのサッカーシティー競技場に8万4490人の観衆を集めてオランダ―スペインの決勝を行い、2008年欧州選手権覇者のスペインが延長後半に得点して1-0で初優勝を飾り、史上8チーム目のW杯王者に就いた。



2大会連続で欧州勢対決となった決勝は両チームとも均衡を破れないまま延長に突入した。延長後半11分、セスクからのパスを受けたイニエスタが決勝ゴールを挙げた。3度目の決勝に駒を進めたオランダは初の栄冠を逃した。

得点王には5得点でピリャ(スペイン)、スナイダー(オランダ)、ミュラー(ドイツ)、フォルラン(ウルグアイ)の4人が輝いた。
この試合では西村雄一氏(38)が「第4の審判員」で、相楽亨氏(34)は控えの副審として、ともに日本人で初めて決勝の審判団に名を連ねた。
32チームが出場し、6月11日から約1カ月間繰り広げられたサッカーの祭典は閉幕した。次回の14年大会は64年ぶりにブラジルで開催される。